

社会福祉法人博友会 令和2年度 事業報告

目 次

・ 法人の概要	2
・ 社会福祉法人 博友会	4
・ 特別養護老人ホーム白雪	6
・ とらのこ保育園	14
・ 特別養護老人ホーム高砂	18
・ 特別養護老人ホーム・高齢者住宅なでしこ	22
・ 特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん	27
・ すずらん鍼灸治療院	32
・ すずらん託児所	33
・ ケアハウスやまぼうし.....	35
・ 社会福祉法人博友会指定地域密着型通所介護事業所	39
・ 菜の花こども園.....	45

法人の概要

法人名 社会福祉法人博友会
住 所 静岡県御殿場市川島田字南原270番地

第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム 白 雪 (定員120名)
特別養護老人ホーム 高 砂 (定員 80名)
特別養護老人ホーム なでしこ (定員 29名)
特別養護老人ホーム すずらん (定員150名)
ケ ア ハ ウ ス すずらん (定員100名)
ケ ア ハ ウ ス やまぼうし (定員 60名)

第二種社会福祉事業 短期入所生活介護 白 雪 (定員20名)
デイサービスセンター 白 雪 (定員30名)
デイサービスセンター 高 砂 (定員15名)
短期入所生活介護 百 寿 (定員44名)
とらのこ保育園 (定員90名)
地域子育て支援拠点事業 プチとらパーク
とらのこ保育園 一時預かり事業
短期入所生活介護 すずらん (定員30名)
デイサービスセンター すずらん (定員30名)
社会福祉法人博友会指定通所介護事業所 (定員15名)
菜の花こども園 (定員90名)
地域子育て支援拠点事業 なのはなパーク
菜の花こども園 一時預かり事業

公 益 事 業 白雪居宅介護支援センター
高砂居宅介護支援センター
フジ高砂クリニック
サービス付高齢者向け住宅なでしこ
すずらん鍼灸治療院
すずらん託児所
社会福祉法人博友会指定居宅介護支援事業所

沿 革

- 平成17年2月 法人設立認可
- 平成18年1月 特別養護老人ホーム 白雪 設置認可
2月 特別養護老人ホーム 白雪 開設
(定員:入所120名 ショートステイ20名 デイサービス15名)
- 平成19年4月 デイサービスセンター 白雪 定員30名に増員
6月 白雪居宅介護支援センター 開設
- 平成22年4月 とらのご保育園 開設(定員90名)
短期入所生活介護 百寿 開設(定員44名)
- 平成23年5月 特別養護老人ホーム高砂 開設(定員:入所80名 デイサービス15名)
高砂居宅介護支援センター 開設
フジ高砂クリニック 開設
- 平成24年5月 地域密着型特別養護老人ホームなでしこ 開設(定員29名)
サービス付高齢者向住宅なでしこ 開設(定員53名)
9月 特別養護老人ホームすずらん 開設
(定員:入所150名 ショートステイ30名 デイサービス30名)
ケアハウスすずらん 開設(定員100名)
- 平成26年4月 障害者短期入所事業所 白雪 開設
6月 障害者短期入所事業所 百寿 開設
8月 すずらん鍼灸治療院 開設
- 平成27年4月 ケアハウスやまぼうし 開設(定員60名)
山中湖診療所 開設
5月 すずらん託児所 開設(定員12名)
8月 山中湖診療所が平野診療所として移設
- 平成28年4月 すずらん託児所 定員15名に増員
社会福祉法人博友会指定通所介護事業所 開設(定員15名)
社会福祉法人博友会指定居宅介護支援事業所 開設
菜の花こども園 開設(定員90名)
- 平成29年2月 平野診療所 医療法人社団青虎会へ移管
- 令和 1年4月 障害者短期入所事業所 白雪 廃止
障害者短期入所事業所 百寿 廃止
- 令和 1年6月 障害者基準該当生活介護事業所白雪 廃止

法人事業報告

令和2年 6月 2日 監事監査

- (会計) 財産状況について監査実施
- (業務) 業務執行状況について監査実施

令和2年 6月 4日 理事会

- 議事
- ・平成31年度事業報告並びに計算書類等の承認の件
 - ・社会福祉充実残高の算定の件
 - ・会計監査人の報酬の件
 - ・評議員の選任候補者の推薦の件
 - ・施設の長の任免の件
 - ・定時評議員会の招集の件

令和2年 6月 24日 評議員会

- 議事
- ・平成31年度事業報告並びに計算書類の承認の件
 - ・社会福祉充実残高の算定の件
 - ・会計監査人の選任の件
 - ・施設の長の任免の件

令和2年 8月 28日 理事会（決議の省略）

- 議事
- ・特別養護老人ホーム印野（仮称）建築工事 制限付き一般競争入札落札業者及び落札額の決定についての報告を承認する件
 - ・フジ高砂クリニック院長の交代の件

令和2年 10月 28日 理事会（決議の省略）

- 議事
- ・フジ高砂クリニック院長の交代の件

令和2年 11月 10日 理事会

- 議事
- ・令和2年度第一次補正予算の件
 - ・特別養護老人ホーム印野（仮称）建設工事請負代金支払いに伴う「つなぎ資金」の借入の件
 - ・特別養護老人ホーム印野（仮称）ペレットボイラー庫工事見積合わせ結果報告の件
 - ・評議員会の招集の件

令和 2 年 11 月 24 日 監事監査
(会計) 財産状況について監査実施
(業務) 業務執行状況について監査実施

令和 2 年 11 月 24 日 評議員会
議事

- ・ 令和 2 年度第一次補正予算の件
- ・ 特別養護老人ホーム印野（仮称）建設工事請負代金支払いに伴う「つなぎ資金」の借入の件
- ・ 特別養護老人ホーム印野（仮称）ペレットボイラー庫工事見積合わせ結果報告の件

令和 3 年 3 月 25 日 理事会（決議の省略）
議事

- ・ 令和 2 年度第二次補正予算の件
- ・ 令和 3 年度事業計画の件
- ・ 令和 3 年度当初予算の件
- ・ 指導監査等の結果報告の件
- ・ 特別養護老人ホーム印野（仮称）に係るつなぎ資金借入の件
- ・ 印野職員寮整備の件
- ・ 評議員会の書面決議実施の件

令和 2 年 3 月 29 日 評議員会（決議の省略）
議事

- ・ 令和 2 年度第二次補正予算の件
- ・ 令和 3 年度事業計画の件
- ・ 令和 3 年度当初予算の件
- ・ 指導監査等の結果報告の件
- ・ 特別養護老人ホーム印野（仮称）に係るつなぎ資金借入の件
- ・ 印野職員寮整備の件

特別養護老人ホーム白雪 事業報告

1. 利用者の状況

令和3年3月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)白雪

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場・小山	3	9	45	36	10	103	3.4	26
裾野	0	2	3	3	1	9	3.7	2
その他	0	0	3	4	1	8	3.3	3
合計	3	11	51	43	12	120	3.5	31

●短期入所生活介護(ショートステイ)白雪

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	1	14	7	10	8	3	44	2.4

●通所介護(デイサービス)白雪

介護度	事業対象	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	2	3	11	25	20	6	4	0	71	1.5

●居宅介護支援センター白雪

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	32	15	18	13	7	85	2.4

●短期入所生活介護(ショートステイ)百寿

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	1	7	14	16	12	4	55	2.9

2. 利用者・家族との連携

利用者に快適な生活をしていただくために、利用者本人はもとより、利用者家族に施設へのご理解をいただき、また、率直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

●家族会活動状況

6月	施設周辺の草取りボランティア	※新型コロナウイルス感染対策の為に中止
----	----------------	---------------------

●外出・外泊状況

感染防止のため、実施なし

●面会の状況

新型コロナウイルス感染防止の為、5月よりリモート面会および看取り者面会開始。

10月より窓越し面会開始。

月	リモート 面会件数	看取り者 面会件数	月	窓越し 面会件数	リモート 面会件数	看取り者 面会件数	月	窓越し 面会件数	リモート 面会件数	看取り者 面会件数
4	0	0	8	21	2	-	12	33	15	3
5	53	0	9	23	0	-	1	44	27	1
6	29	3	10	38	15	7	2	33	16	0
7	39	6	11	50	11	3	3	55	23	0
							平均	42	23	2

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域との交流を図る為、従来は地域交流スペースの地域開放を積極的に行っているが、感染症予防の観点から、地域交流スペースでの集まりを控えた。

4. 情報公開の取り組み

事業報告書、決算書、事業計画書、予算書をHPに公開するとともに、受付にて回覧に供している。
『白雪新聞』を請求書送付の際、ご家族に向けて同封。(直接面会が出来ない為、施設での様子をお伝えしている。)

5. 苦情解決の取り組み

玄関前及びデイルーム前にご意見箱を設置。

令和2年度 ご意見箱件数 0件

●事業所別

	特養	短期	通所	百寿
口 頭	0	3	1	4
電 話	0	1	1	1
連絡帳	1	1	0	0

6. 主な年間行事

外出する機会を増やすことや、家族と一緒に楽しみ、又、地域参加型の行事計画に努めた。

月	行 事 内 容
4	上旬 お花見鑑賞会（感染症対策の為中止）
6	さつき展・お茶会（感染症対策の為中止）
7	3～7日 七夕 杉名沢区盆踊り交流（感染症対策の為中止）
8	納涼祭（感染症対策の為中止）
9	敬老会・御殿場ふれあい広場（感染症対策の為中止）
10	秋の行事（感染症対策の為中止）
11	18日～文化展 朝日小学校交流会（感染症対策の為中止）
12	～9日迄 文化展 17日 クリスマス会 23～25日 餅つき大会
1	上旬初詣（感染症対策の為中止）
2	1日～21日 開設記念行事

※各ユニットにて日々のレクリエーションを実施

7. クラブ活動の状況

従来、クラブ活動指導員(ボランティア)による様々なクラブ活動を定期的に行っているが、感染症対策の為、中止した。

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、介護長、介護長代理、事務長、ユニットリーダー、百寿、デイ、看護師、栄養課、営繕の各リーダー

開催日	主 な 議 題
4月13日	・新年度リーダー業務について(役割・預り金等) ・人事異動、職員体制について ・ご家族へのお便りについて ・各部署連絡事項
5月11日	・新型コロナウイルス感染対策について ・事故報告について ・ビデオ通話開始について ・タイムカードの打刻ミスについて ・各部署連絡事項
6月8日	・新型コロナウイルス感染対策について ・エアコン使用について ・新人職員フォローアップについて ・義歯、補聴器の管理方法について ・各部署連絡事項
7月13日	・新型コロナウイルス感染対策について ・事故について ・職員健診について ・職員休憩場所について ・各部署連絡事項
8月11日	・新型コロナウイルス感染対策について ・各部署連絡事項
9月14日	・新型コロナウイルス感染対策について ・事故について ・敬老会について ・タイムカードの打刻ミスについて ・各部署連絡事項
10月12日	・窓越し面会について ・事故について ・看取りケアについて ・新型コロナウイルス感染対策について ・各部署連絡事項
11月9日	・職員の言動や行動について ・事故について ・年末年始にあたり大掃除 ・新型コロナウイルス感染対策について ・総合防災訓練について ・各部署連絡事項
12月14日	・年末年始の窓越し面会について ・事故について ・安全運転教育について ・新型コロナウイルス感染対策について ・各部署連絡事項
1月7日	・事故について ・高齢者虐待について ・新型コロナウイルス感染対策について ・家族へのお便りについて ・各部署連絡事項
2月8日	・事故について ・来年度に向けての準備について ・タイムカードの打刻ミスについて ・新型コロナウイルス感染対策について ・各部署連絡事項
3月8日	・事故について ・来年度に向けての準備について ・年度末の預かり金、教養娯楽費の締めについて ・リーダー登用試験について ・新型コロナウイルス感染対策について ・各部署連絡事項

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット・部署職員

主な議題：多職種参加のカンファレンス内容をユニット職員で共有し、統一したケアができるように会議を開催、ユニット業務の見直し、改善を検討。

9. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
10月23日	安全運転管理者講習会	営繕職員	1
2月5日	令和3年度介護報酬改定勉強会（オンライン）	施設長 事務長	2
2月26日	障害者就業生活支援センター連絡会議（オンライン）	事務長	1

10. 研修会の状況

なし

11. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
事故対策 抑制禁止	妨げる事故を防止する。その為の情報の共有と勉強会を開催する。事故の発生時には、迅速に対応し再発防止に努める。	4月：緊急事故対策会議。タッチコール・L字パー点検管理。各ユニットのひやりハット対策用紙回収・確認。 5月：勉強会のテーマ・内容の検討 6月：購入書籍の選定 7月：新規書籍購入。勉強会の内容完成、予演会。8月勉強会のテーマ・内容の検討 8月：勉強会の内容完成、予演会 9月：書籍回覧開始 10月：1月勉強会テーマ・内容の検討 11月：2月勉強会テーマ・内容の検討 12月：1月勉強会内容完成・予演会 1月：2月勉強会の内容完成・予演会 2月：勉強会開催・書籍回覧まとめ・1年間反省アンケート配布 3月：1年間の反省	反省： ・勉強会が4回あり、資料作成に追われてしまった。 ・今年度の勉強会は来年度に活用できるよう委員会の基本を中心に作成した。 ・来年度は今年度の勉強会内容を元に作成していく。 ・新型コロナウイルス感染症もあり研修会に参加する機会が無かった。
広 報	白雪の話題や日々の様子をお伝えする。	4月：リーダー紹介準備 5月：新聞（内容：空調工事） 6月：新聞（内容：リーダー紹介） 7月：新聞（内容：七夕） 8月：新聞（内容：おやつレク） 9月：フォトコンテスト作品募集 10月：ユニット写真同封 11月：新聞（内容：窓越し面会） 12月：新聞（内容：文化展写真） 1月：新聞（内容：新年挨拶） 3月：新聞（内容：ユニットでの様子）	反省： 感染症対策の為、面会が出来ないので、白雪新聞を請求書発送の際に同封し、ご家族の方にも施設の様子をお伝えした。 年間を通して、行事が少なかったが、もう少し、入居者様の内容が多く伝えたかった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
行事	白雪、百寿をご利用されている皆様とその御家族様に、行事を通じて季節の移り変わりを感じていただき、生活に張りを持ち豊かに過ごしていただく。	4月:5月人形飾付 5月:人形片付け 6月:(さつき展・朝日小交流会中止) 7月:七夕行事 (杉名沢区盆踊り中止) 8月:(納涼祭中止) 9月:敬老会特別メニュー・記念撮影 (ふれあい広場中止) 11月:文化展(朝日小交流会中止) 12月:クリスマス会、餅つき大会 2月:第15回開設記念 特別メニュー・紅白饅頭 3月:雛人形飾り付け	反省: ・感染症対策の為、行事のほとんどが中止となったが、季節の行事等、出来る範囲で行った。
感染対策	・施設内の感染防止のための計画立案 ・施設内教育(勉強会2回開催)・加湿器の設置・管理 ・感染予防の為に環境整備とマニュアルの実施	4月:新型コロナ対策ポスター作成 5月:マットレス天日干し実施計画。ポスター掲示。勉強会『新型コロナウイルスについて』 6月:手洗い指導・各ユニット等の手指消毒液消費期限の確認と交換・注意喚起。各ユニットの感染予防セットの確認 7月:物品チェックの結果とまとめの報告。天日干し実施経過確認。 9月:8月新型コロナウイルス発生近況報告 10月:ノロとインフルの予防ポスター作成と掲示(～4/30) 11月:施設内感染症予防環境整備。11月勉強会『冬期感染症 インフルエンザ・ノロウイルス』 12月:インフル・ノロの職員へ予防注意喚起ポスター作成。冬期感染症発生時期の為に、最終物品チェック・補充。加湿器導入のための各ユニット現状確認。 1月:各ユニットへ加湿器設置。 2月:加湿器清掃チェック。本年度の委員会振り返りアンケート配布。 3月:加湿器清掃チェック。活動内容の振り返り。	反省: ・今年度も天日干し対応を継続実施とした。5/25～8/31までの天気の良い日にマットの両面実施をした。感染が発生する等の異常報告はなかった。 ・5月勉強会においては、感染症が流行している為、予防等をまとめて動画作成。 ・職員1名コロナ感染したが、他職員、利用者に感染することはなかった。 ・新型コロナ流行の為に(ユニットの出入りが激しくなる為)マット乾燥中止。 ・11月勉強会は冬期感染症について行った。感染症で予防が徹底されていたからか、今年度は発症者がいなかった。 ・感染対策としてバスタオルのみのユニットが多く、各ユニットに1台加湿器導入。委員会にて定期的に清掃チェックを実施。 ・加湿器導入までの動き(立案)が遅かった。 ・感染対策の為に、委員会開催が出来ない時もあったが、委員各々動いていた。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
省 エ ネ	介護報酬の改定により施設経営の状況が変化。無理なく経費を抑えられるように、施設・職員全体で経費削減に取り組んでいく。	4 月：委員顔合わせ・今年度の活動について報告 6 月：省エネ効果月間に向けた話し合い及び呼びかけ 7 月：夏の省エネ強化月間実施状況確認（ユニット巡視）、巡視結果報告 9 月：夏の省エネ強化月間実施報告・反省 10 月：前期水道光熱費 前年度との比較・検証	反省： 夏・冬の電力消費が多い時期に省エネ強化月間を先期に引き続き実施予定だったが、今期もコロナ禍の為、出来る範囲での委員会開催となったが、施設内照明LED化工事に加え施設エアコン設備の変更等が省エネに寄与する形となった。 来期も省エネへの呼び掛けと意識向上・周知徹底を図る為一方再度上司・職員を巻き込んだ活動を展開していきたい。継続して経費削減に寄与出来るような活動を全員で展開して行く。
教 育	勉強会や研修等を通して職員の業務上必要な知識・技術の向上を図る	オンラインでの勉強会を開催 5 月：新型コロナウイルスについて 6 月：急変時の対応 7 月：事故対策（ひやりハットの書き方等） 9 月：抑制とは① 10 月：ストレスに対処しよう 11 月：冬期感染症について 12 月：1 日でも長く寄り添って 1 月：抑制について② 2 月：事故対策 3 月：口腔ケアの大切さ	反省： ・委員会メンバーが率先して動き、スムーズに進行できた。新型コロナウイルスについての勉強会では、感染症の怖さを強く感じたとの意見が複数あり、今後も気を付けなければならないと感じた職員が多かった。 今後もオンラインでの開催ではあるが、他の委員会と協力して勉強会を開催して行きたい。
安全衛生	職場における職員の安全と健康を保持し、快適な職場環境の形成を促進する。	毎月：作業環境管理点検、給食従事者の検便、雇用時健康診断、定期委員会の開催 7 月：職員健診・ストレスチェック打合せ 8 月：職員健診・ストレスチェック実施 9 月：勉強会資料提出 10 月：勉強会（ウェブ配信） 「ストレスに対処しよう」 11 月：利用者健康診断 12 月：ユニット大掃除 チェック表配布 1 月：夜勤者健診打合せ 2 月：夜勤者健診 1 年間の反省 3 月：委員会活動報告 1 年間の感想	反省： ・作業環境管理の為の点検がしっかりできた。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
園芸・飼育	白雪・百寿の美化活動 飼育活動	・月～土 飼育小屋周辺清掃 ・毎月施設周辺の花管理 5月：白樺・楠間の中庭にケシ等を植え付け 6月：羊毛刈り 7月：ひまわり種まき 10月：秋咲ひまわり開花 2月：羊小屋改修	反省： ・飼育に関しては毎日しっかりと行った。 ・毎月施設周辺の花管理を行った。
給食	・利用者様に合った食事内容の見直し、衛生管理の指導。 ・嚥下・摂食障害への対応や予防について助言指導・啓発。	毎月：冷蔵庫チェック・白雪レストラン(献立表)発行。誕生日献立、行事献立の考案・実施献立の反省、自助具貸出管理 5月：STによるリモート評価の取り組みを行う。 6月：自助具新規購入の提案 7月：自助具購入・貸出開始 8月・9月：勉強会内容検討 10月：勉強会内容決定「口腔ケアについて」 11月・12月：勉強会準備 1月：嗜好調査 2月：勉強会撮影・嗜好調査集計 3月：勉強会配信・次年度計画と今年度反省	反省： ・嚥下評価は随時実施していたが、情報シートの活用が上手くできず、多職種の情報共有がスムーズではなかった。経過観察においてもっと活用しやすいようシートの改善も含め検討していく。 ・勉強会について、厳しい環境下でも全員参加で配信内容を製作できてよかった。 ・ソフト食や汁物具材の大きさ、あんかけの固さの統一等、栄養課の協力を得ながら、より安全に食べてもらえるよう工夫できてよかった。
看取り (こもれびの会)	看取り体制の充実を図り施設全体で質の高いケアを目指し実施していく。利用者が充実した生活を送れるよう寄り添い手助けをする。	4月：看取り2名・年間事業計画・共有 5月：看取り2名・カンファレンス運用方法の確認・修正。広報誌作成の検討。ご長寿マップ作成・勉強会開催の内容確認 6月：看取り2名→3名・広報誌の原案修正・内容検討。ご長寿マップ作成者内容確認 7月：看取り3名・ご長寿マップ作成開始・内容確認 8月：看取り3名→2名・勉強会を9月→12月へ延期・ご長寿マップ完成・掲示 9月：看取り2名→1名・勉強会内容検討・ご長寿マップ掲示 10月：看取り1名→4名・勉強会内容検討・原案作成・修正。ご長寿マップ掲示終了・片付け。必要物品の選定・補充・購入検討。 11月：看取り4名→5名→3名・勉強会資料作成・ビデオ撮影。必要物品購入。 12月：看取り3名・勉強会ビデオ配信。物品の確認・検討 1月：看取り3名→2名・勉強会反省会 2月：看取り2名・次年度引継ぎ事項確認。 3月：看取り2名→5名→4名・1年の振り返り	反省： ・新型コロナウイルス感染対策のため、対象利用者に応じ、面会の調整や面会方法の検討・修正が年間を通じて多くあった。今後も状況に応じ再検討は必要。 ・勉強会はビデオ配信での対応となり、内容を伝えていくことが難しく、視聴する側の反応が分かりにくかった。 ・広報誌が完成できず、来年への繰り越し検討内容となってしまう。看取りへの理解や共有の難しさがあった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
防 災	・火災等人的災害の予防と地震・風水害・雪害等の自然災害時の救助および、被害の軽減を図る。 ・生活のいろいろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を認識する。 ・BCP の内容理解や改善を目的とした教育、訓練を行う。	4 月：新人職員に避難経路図・初期消火の対応資料配布。 5 月：避難用具使用方法説明資料配布。施設内外の点検。 6 月：非常階段を使用した避難訓練。 7 月：消火器・消火栓の使用説明。 8 月：自動通報装置通報専用電話の取扱説明 9 月：キャリアマットの取扱説明 10 月：非常時のライフライン確保について小型発電機の取扱い 11 月：総合防災訓練(消化・避難誘導・情報伝達訓練)施設内外の点検 12 月：風水害及び雪害の対応について御殿場地区ハザードマップ確認 1 月：感染症対策の為、防災訓練中止 2 月：感染症対策の為、防災訓練中止 3 月：白雪防災クイズ作成	反省： ・コロナ禍で集まる事が出来なかった。 ・年間予定変更が多かった ・防災訓練の参加率が上がり、日時の変更が必要 ・LED 投光器の購入検討 ・自主定期点検の徹底 ・非常食管理の徹底 賞味期限前にどうするか検討

白雪 事故対策・抑制禁止委員会 活動報告別表

●令和2年度 ヒヤリ・はっと集計報告

場所 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
白 樺	4	3	2	6	7	0	3	5	1	2	2	2	37
楠	1	3	4	1	2	8	5	2	1	3	2	2	34
椿	9	2	1	7	4	5	6	0	3	7	3	3	50
桜	4	0	4	4	3	2	2	4	2	2	3	1	31
白 百 合	1	3	2	4	1	6	2	0	3	1	1	3	27
牡 丹	1	3	3	2	3	3	1	3	4	1	0	2	26
山 吹	2	0	1	2	3	4	3	4	5	2	4	5	35
天 城	6	3	8	4	7	6	3	1	9	8	6	3	64
愛 鷹	1	6	1	2	2	7	2	2	3	4	2	2	34
金 時	4	6	0	5	13	5	5	4	3	6	0	0	51
足 柄	4	5	2	1	2	3	3	5	6	4	1	0	36
富 士	3	6	0	0	1	4	1	1	3	4	4	0	27
シ ョ ー ト	4	4	6	5	7	3	5	12	8	13	13	11	91
百 寿	8	6	6	14	13	7	22	20	16	27	17	20	176
デ イ	6	4	5	12	2	5	1	4	7	3	5	6	60
ユニット外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	58	54	45	69	70	68	64	67	74	87	63	60	779

内容 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
転 倒	27	17	14	24	24	17	25	26	29	29	21	17	270
転 落	13	8	10	4	14	20	16	12	21	13	11	16	158
対人トラブル	0	2	2	0	1	0	0	0	0	1	1	1	8
離 設	4	3	4	1	5	3	3	6	7	11	7	3	57
異 食	1	1	2	1	2	2	0	5	3	1	1	2	21
暴言・暴力	0	0	0	1	0	1	1	1	0	2	2	1	9
不潔行為	8	4	3	6	2	11	7	4	2	11	4	6	68
誤 嚥	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	7
誤 薬	0	1	0	4	3	0	3	1	1	2	2	2	19
外 傷	3	10	4	14	12	7	5	7	4	6	9	6	87
そ の 他	0	5	3	2	1	1	1	2	3	3	0	1	22
時間帯\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
7時～13時	17	11	18	28	17	21	12	22	26	19	19	21	231
13時～19時	16	22	14	20	24	15	18	25	21	29	30	19	253
19時～0時	10	12	4	6	15	10	15	10	8	15	5	10	120
0時～7時	15	9	9	15	14	21	18	10	18	24	8	10	171
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

●令和2年度 事故集計報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
事故報告件数	5	1	3	4	2	5	3	5	9	1	5	2	45

とらのこ保育園 事業報告

1. 利用状況 入所児童数：定員 90 名

月	乳 児		1・2歳児		3歳児		4歳児以上		合計
	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	
4	5	2	25	4	19	1	33	8	97
5	6	2	25	4	19	1	34	7	98
6	7	2	27	4	19	1	34	7	101
7	7	2	26	5	19	1	34	7	101
8	7	2	26	5	19	1	33	8	101
9	7	2	27	4	19	1	33	7	100
10	7	2	27	4	19	1	34	6	100
11	7	2	28	3	19	1	34	6	100
12	8	2	28	3	20	0	34	6	101
1	9	1	27	3	20	0	33	6	99
2	9	1	27	3	20	0	33	6	99
3	9	1	27	3	20	0	33	6	99
合計	88	21	320	45	232	8	402	80	1,196

事業名	延べ利用人数
一時預かり保育	131 人
延長保育	244 人
休日保育	181 人
病後児保育	15 人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	1 日 入園式 10 日 幼年消防任命式（年長児） 22 日避難訓練
5	14 日 さつまいも苗差し
6	3 日 内科検診 26 日 年長児花火教室
7	1 日 プール開き 13 日 じゃが芋掘り 7 日 七夕の集い 10 日 とらのこまつり（園児のみ） 21 日 小野園お茶教室（年長児）
8	31 日 プール閉め
9	1 日 総合防災訓練（引き渡し訓練） 27 日 運動会
10	29 日 秋の遠足 15 日 さつま芋ほり
11	13 日 七五三を祝う 21・28 日 年長児保護者奉仕作業
12	12 日 3～5 歳児生活発表会 17 日もちつき 24 日クリスマス会
1	23 日 ひよこ・うさぎ発表会参観 25 日 年長児水泳参観・懇談会
2	2 日節分の会 12 日 幼年消防修了式・引継ぎ（年長児・年中児） 25 日 交通安全教室 年長・年中児絵本のバス見学
3	5 日お別れ遠足（年長児） 11 日お別れ会 27 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月 1 回 出席者：主任、副主任、専門リーダー

開催日	主 な 議 題
4 月 13 日	・保育の問題点 ・研修予定(新任)・備品について
5 月 13 日	・保育の問題点 ・早番/遅番の玩具、遊び ・とらのこ祭りについて
6 月 10 日	・保育の問題点 ・とらのこ祭りの進行状況 ・七夕祭りについて
7 月 15 日	・保育の問題点 ・運動会について ・保育言葉かけについて
8 月 18 日	・保育の問題点 ・運動会準備について ・引き渡し訓練について
9 月 16 日	・保育の問題点 ・園内研修について ・県指導監査報告
10 月 4 日	・保育の問題点 ・感染症について ・環境研修について ・研修報告
11 月 11 日	・保育の問題点 ・未満児、以上児会議 ・参観日について
12 月 16 日	・保育の問題点 ・環境研修について ・入園説明会について ・行事確認
1 月 13 日	・保育の問題点 ・環境研修について ・今後の行事について
2 月 10 日	・保育の問題点 ・環境研修について ・誕生表について

●全体会議

開催時期：毎月第4水曜日

出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
4月 1日	・行事予定の内容、連絡 ・各委員会の事業計画 ・保育指導計画
4月22日	・行事予定の内容、連絡 ・勤務表について
5月20日	・保育参観、プール開き、とらのこまつりについて
6月17日	・5月の行事反省 ・七夕まつり、運動会について ・各委員会より
7月22日	・6月の行事反省 ・防災訓練、運動会について ・各委員会より
9月 1日	・7～8月の行事反省 ・防災訓練の反省 ・運動会について
9月23日	・9月の行事反省 ・秋の遠足 ・各委員会より
10月21日	・10月の行事反省 ・発表会、芋ほり、七五三について ・各委員会より
11月18日	・11月の行事反省 ・クリスマス発表会について ・各委員会より
12月23日	・12月の行事反省 ・保育参観について ・各委員会より
1月21日	・1月の行事反省 ・節分の会、卒園式、お別れ会について ・委員会より
2月17日	・2月の行事反省 ・ひな祭り、お別れ遠足、卒園式、入園式について ・各委員会より
3月27日	・3月の行事反省 ・卒園式、入園式について ・次年度の行事等確認

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
6月 1日	新型コロナウイルス感染症・情報提供について	保育士・看護師	2
7月27日	静岡県保育士会「求められる子どもの育ちと保育者の役割」	保育士	1
7月28～30日	静岡県保育連合会キャリアアップ研「保健衛生」	保育士	1
8月3～5日	静岡県保育連合会	保育士	1
8月27日	中堅保育者研修会	保育士	1
9月30日	静岡県保育士会「リーダーセミナー（危機管理）」	主任副主任保育士	2
10月 7日	御殿場市給食協会	調理士	1
10月19日	静岡県人権啓発センター「虐待治療について」	保育士	1
10月21・22日	静岡県保育連合会キャリアアップ研「乳児保育」	主任保育士	1
11月 5・6日	静岡県保育士会主任・主幹保育士研修・リモート	保育士	2
11月12日	御殿場市保育幼稚園課「感染症予防」	保育士	1
11月25日	静岡県保育士会「気になる子どもたちの理解と対応」	保育士	2
11月27日	御殿場市教育委員会「特別支援教育研修」	保育士	1
12月 7日	静岡県保育所連合会・オンライン研修	保育士	2
12月16～18日	静岡県保育士会キャリアアップ研「マネジメント」	保育士	2
1月28日	歯科衛生 オンライン研修	看護師	1
2月 4日	静岡県保育士会「食育」オンライン研修	保育士	2

5. 委員会事業報告

毎月1回委員会を開催し、園運営の環境整備、衛生面の職員周知徹底を基本に、職員会議にて報告して委員会の充実を図る。

委員長が必要性を認める場合は園長が委員会に参画し、運営の充実を図る。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	・常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指すため、勉強会や研修を企画し実施する。 ・園内研修の充実を図り職員の活動意欲を高める。日程を分けて職員全員の参加を基本とする。研修会等を通じて職員間の連携と情報共有を図る。	・年間を通じた園内研修 第1回グループディスカッション「指導計画について」 第2回グループディスカッション ・原里地区一貫研研修の参加 ・県内外の外部研修参加 ・衛生委員会との共同で、看護師による感染症の知識を学ぶ。「AED講習会」	・職員全体で一つのテーマに取り組み考える事により、保育に対し共通理解を深め、知識や技能の向上に繋がった。 ・配慮の必要な子に対する専門的知識を得ることができた。 ・外部講師(感性感覚指導)を招く事で、1～2 歳児の育ちの客観視ができ、学びとなる。
保健衛生	・病気の対応、環境衛生の管理を定め、園児の健康保持・増進を図る。 ・アレルギー児の確認、周知を図る。又、変更は随時知らせる。 ・看護師による指導を受ける。 ・感染症予防対策として、手指消毒器・検温器大型空気清浄機設置。	・救急箱および各クラスの救急箱の管理(補充) ・消毒液の回収・補充 ・感染罹患シート回収・集計 ・掲示板に設置して、定期的に感染症や衛生管理の手洗いの仕方等を掲示する。 ・感染予防講習会参加 ・園児への保健指導 ・アレルギー児の表を作成配布。 ・アスファ水を使い効果を上げる	・健康管理について保護者や園児へも促すことができた。 ・アレルギー児の確認の為、各クラスで誤飲の無い様全体の表を作成し配布、顔写真を付けて周知を図る。 ・除去食の置き場所を作り、栄養士との声掛けで再確認をする。 ・感染症が流行らずに過ごせる。
環 境	・人と物との環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう計画的に構成する。 ・保育環境の整備、向上とともに、施設内外の設備遊具等の管理をする。 ・修繕の個所を見つけ依頼する。	・用品、備品、教材等の管理、教材室の整理、整頓。 ・園庭遊具の安全確認。 ・定例委員会後に教材庫の見回りをする。 ・ヒヤリハットの管理 ・各クラスの不備を受け止め、園長に報告する。	・月に2回の物品発注が習慣化する。 ・環境チェックシートをうまく活用できた。 ・ヒヤリハットは、呼びかける事で意識が高まり、習慣化になりつつある。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
広報・写真	・園内の壁面装飾 ・写真、ホームページの管理。 ・園児の生活風景を写真として記録し、保護者も子どもの成長を感じられるようにする。	・写真の整理、注文 ・カメラ関係備品の管理 ・HPの更新 ・園内の壁面装飾 ・行事におけるスライド等製作	・カメラ等の使用方法についてルールを定め、利用しやすくした。 ・各委員が協力し、円滑に進められた。 ・各クラスで写真販売に手掛ける。
食育	・食育に関する年間計画を定め実施のサポートをする。 ・食物を育てる楽しさ、調理や食事の楽しさをしらせる。 ・身近な食材に興味関心を持たせ、食物を大切に育てる心をする。 ・年長児は、給食の献立で栄養素を学ぶ。	・食育実践の計画を立て、準備に携わる。(苗付、草取り等) ・食育ひろば(掲示板)作成 ・食育だよりの発行。 ・食育のアンケートを配布、結果を報告する。 ・年長児の卒園行事として、ジャガイモの種を植える。	・食育便りでは、保護者へ関心を高められた。 ・食育ひろばをうまく利用している。 ・園児に向けた様々な食育を発信していく。 ・園庭に小さな畑を設けて植物への関心を身近なものにしていく。 ・卒園後のカレーの材料として来園の期待を持たせる。

特別養護老人ホーム高砂 事業報告

1. 利用者の状況

令和3年3月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)高砂 平均在所期間 4年1ヶ月

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
沼津	0	10	17	20	17	64	3.7	24
御殿場	0	0	1	2	0	3	3.7	0
裾野	0	1	0	0	0	1	2.0	1
長泉	0	0	0	1	0	1	4.0	2
三島	0	0	2	0	1	3	3.7	0
その他	0	1	5	2	0	7	3.3	3
合計	0	11	25	25	18	79	3.4	30

●通所介護(デイサービス)高砂

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	4	5	8	0	0	1	19	1.6

デイサービスにおいては、コロナ感染を懸念し利用を一時中止する利用者様や、ご家族が東京等から帰省したことにより、こちらからご利用を一時中止していただくようなケースが多々あり、利用率は減少した。(前年度 62%、当年度 55%)

2. 利用者・家族との連携

昨年度までは御家族との会話を積極的に行い、忌憚のない意見を聞くことにより、家族との距離を縮め、より親しみある施設の構築に努めていたが、コロナ禍で面会は殆どできない状況であった。

3月10日過ぎよりガラス越し面会再開。

但し、各ユニットで御家族へ利用者様の写真付きのお手紙を出すなど、近況報告に努めた。

面会の状況

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	0	0	10	0	
5	0	0	11	0	
6	50	1.6	12	0	
7	1	0.03	1	1	0.03
8	1	0.03	2	0	0
9	0	0	3	28	0.9
				平均	6.7

3. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見投稿件数 2件

4. 主な年間行事

本年度は外出を伴う行事ができなかったが、利用者の皆様に季節を感じ、また気分転換を図ってもらえるような事業計画に重点をおき、ユニット毎の行事を実施した。

また、御家族に参加していただく新緑祭と敬老会は中止した。

行 事 内 容			
4	1～5日 お花見	10	25～31日 紅葉ツアー・ドライブ
5	1日創立記念(記念弁当を配布)	11	19～26日 写真展
6	1F運動会、2F運動会	12	ユニット毎にクリスマス会
7	ユニット毎に花火大会、スイカ割り	1	1～4日 初詣、書初め、餅つき
8	流しそうめん	2	3日 豆まき
9	15日 ユニット毎に敬老会	3	文化展(コロナ感染防止のため中止)

5. クラブ活動の状況

日頃外出の機会の少ない利用者の皆様に少しでも楽しい時間を過ごしていただきたかったが、コロナ禍につき、職員による活動にとどまった。

内 容	指導員数	年間回数	内 容	指導員数	年間回数
カラオケ		52	書 道	1	48
体 操	1	48	壁画制作	2	6
脳 ト レ	1	48	映画鑑賞		6

6. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2木曜日

出席者：施設長、事務長、院長、ユニットリーダー、デイ、看護師、クリニック

開催日	主 な 議 題	
4月8日	・介護、診療報酬の実績報告	・リーダーの心得 ・基本介護について
5月14日	・介護、診療報酬の実績報告	・業務改善改善について
6月11日	・介護、診療報酬の実績報告	・リスクマネジメントについて
開催日	主 な 議 題	
7月9日	・介護、診療報酬の実績報告	・施設内の感染予防について
8月13日	・介護、診療報酬の実績報告	・教育の心得
9月10日	・介護、診療報酬の実績報告	・残業時間の削減について
10月15日	・介護、診療報酬の実績報告	・コストの削減について ・個別ケアについて
11月12日	・介護、診療報酬の実績報告 ・施設内の感染予防について	・教養娯楽費の活用について
12月9日	・介護、診療報酬の実績報告	・年末の大掃除の実施について
1月	コロナ感染者発生のため中止	
2月10日	・介護、診療報酬の実績報告 ・リーダー登用試験について	・基本介護について ・業務改善について
3月9日	・介護、診療報酬の実績報告	・教養娯楽費の活用について ・コロナ対策

●カンファレンス・ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回(第1～第4水曜日)

出席者：各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士

主な議題：個々の利用者様の状態について多職種の意見も聞く中で、よりその人に合ったケアを目指して意見交換を行った。

7. 外部研修参加の状況

外部研修は実施できなかったため、DVD等による勉強会を行った。

8. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	業務改善案を募り、検討する。採用の場合には実施をサポートする。	各ユニット及び部署毎に業務改善計画を作成し、毎月進捗度チェック	計画の実行速度にバラツキがあり、50%程度しか改善できない部署があった。
広報・PC	施設の活動内容をご家族、地域の方々に広く周知する。 職員のパソコン技術向上を図る。	・毎月の高砂新聞の発行 ・パソコン勉強会開催	・新聞の定期的な発行ができた。今後も内容を充実させ発信していく。 ・PC技術向上の為に勉強会開催。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
抑制・事故対策	安全でその人らしい生活を支援できるよう介護体制を確立する。事故防止の為危険予知や危険を回避する能力を身につける。身体拘束について理解を深め見えない拘束を廃止。	・ヒヤリはっとの集計、事故対策会議での対策検討、事故防止の呼び掛け。 ・身体拘束に対して職員への意識付け。	・ヒヤリハットについては十分理解されているが、事故防止の対策とスピーチロックについても積極的に今後取り組んでいく。
給食	栄養課業務の改善及び給食の内容充実を図る。	・給食だよりを毎月発行 ・行事メニューの策定 ・実施献立の反省 ・嗜好調査	・給食だよりの発行は定期的にできた。 ・実施献立の反省を食事提供に反映していく。
行事	行事を通して、利用者様に季節を感じて頂き生活への張り合いや変化を楽しむ機会を設ける。 地域行事の参加については、当面行わない。	4月花見 5月開設記念・新緑祭 6月運動会 7月七夕祭り 8月花火大会 9月敬老会 10月紅葉ツアー 11月写真展 12月クリスマス会 1月初詣・書初餅つき 2月豆まき 3月文化祭(中止)	・計画に対する実行がスムーズにできなかった。 ・今後は、計画内容を事前に周知し、職員の協力体制を充実させる。
感染衛生	労働安全法に基づき職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。 施設内感染予防対策の計画、職員研修等を実施する。	・感染予防の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断実施 ・利用者の健康診断の実施	・感染症が拡大することがなかった。感染症に対する知識を職員へ周知徹底していく。 ・腰痛予防やメンタルヘルス対応も行っていく。
防災	火災等の人的災害の予防、地震等の自然災害時の救助及び被害の軽減を図る。	毎月、さまざまな火災状況を想定し、消火活動や通報訓練、誘導訓練を行った。 BCBの作成。 夜間防災避難マップの作製。	・利用者様も参加してもらう訓練が少なかったため、今後は実際に近い形で訓練ができるようにしていく。 ・火災だけでなく様々な災害を想定して行っていく。
教育	職員の業務上必要な知識、技術の向上を図ると共に、施設内外の発表も積極的に行い、職員のスキルアップに繋がるよう、勉強会、研修会等を企画する。	4月各スタッフの年間目標設定 5月コミュニケーションのいろは 6月症例に見る認知症、食中毒 7月高齢者の身体・医療的ケア 8月介護技術 9月事故防止対策(事故対委) 10月職業倫理 11月感染症対策(感染委) 12月1年間の振り返りテスト 1月生活と薬 2月身体拘束防止(事故対委) 3月グループワーク(中止)	・R1年度は毎月の勉強課題をかなり変更した。 課題や内容の評価をおこなうなど、内容の充実を図った。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
喀 痰	胃ろう・吸引の必要な利用者様の状態把握をする。 職員への知識技術の評価・指導を行う。	・毎月、利用者様のカンファレンスを行った。 ・職員に対し評価・技術指導を行った。	・看護師がついて指導している。今後もカンファレンスを行い、利用者様の状態を把握した上で実施していく。

特別養護老人ホーム・高齢者住宅などしこ 事業報告

1. 利用者の状況

令和3年3月末現在

●特別養護老人ホーム

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
富士河口湖町	0	0	4	17	8	29	4.1	44

●高 齢 者 住 宅

介 護 度	自立	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合 計
富士河口湖町	4	0	0	2	2	3	1	0	12
都 留 市	0	1	0	2	2	2	2	0	9
富 士 吉 田 市	0	0	0	7	0	0	0	0	7
鳴 沢 村	0	0	0	4	0	0	0	0	4
東 京 都	0	0	0	1	1	0	1	0	3
西 桂 町	0	0	0	2	0	0	0	0	2
大 月 市	0	0	0	1	1	0	0	0	2
山 中 湖 村	0	0	0	0	1	0	0	0	1
忍 野 村	0	0	0	0	0	1	0	0	1
神 奈 川 県	0	0	0	0	0	1	0	0	1
千 葉 県	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	4	1	0	19	7	7	5	0	43

2. 利用者・家族との連携

面会の状況 ●特別養護老人ホーム

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	0	0	8	30	1.0	12	15	0.5
5	0	60	9	65	2.2	1	4	0.1
6	20	0.7	10	61	2.0	2	2	0.1
7	2	0.1	11	57	1.9	3	44	1.4
						合計	300	0.8

面会の状況 ●高 齢 者 住 宅

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	41	1.4	8	3	0.1	12	0	0
5	14	0.5	9	3	0.1	1	5	0.2
6	36	1.2	10	15	0.5	2	2	0.1
7	23	0.7	11	16	0.5	3	8	0.3
						合計	166	0.5

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	22 日/勉強会
5	27 日/勉強会
6	17 日/おやつバイキング
7	22 日/勉強会
8	5 日/夏祭りバイキング 26 日/勉強会
10	28 日/勉強会
11	6 日/勉強会
12	28 日/餅つき大会
2	24 日/勉強会
3	24 日/勉強会

※新型コロナウイルス感染対策のため、入居者様・地域の方が集まっでの使用は開催せず。

職員が使用する際は換気・距離を取り、短時間にて使用する。

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口に運営規程、重要事項説明書の掲示を行っている。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置	令和元年度	ご意見箱件数	なし
苦情相談窓口受付	令和元年度	苦 情 件 数	なし

6. 主な年間行事

月	行 事 内 容
4	各ユニットで近隣公園の桜見学
5	1 日/8 周年記念日にお祝いのお菓子(季節の練り切り)を提供
6	7 日/おやつバイキング 18 日/外出行事「ぶらっと散歩」

7	1日/七夕飾り 17～19日/紅葉見学(高齢者住宅)
8	5日/夏祭りバイキング(昼食) 19日/すいか割り
9	24日/おはぎ作り(各ユニット)
10	9日/焼き魚を食べる会
11	文化祭作品展示
12	28日/餅つき大会 30日/正月飾り
1	14日/小正月行事・餅ばら作り
2	2日/なでしこ豆まき
3	1日/雛人形飾り 22日/ぼたもち作り
月	行 事 内 容
その他	毎週火曜：ペン習字教室 毎週金曜：歌体操 第4日曜：カラオケ大会 第4火曜日：詩吟教室 月曜日（講師の都合による）：編み物教室 ※ペン習字教室は実施。その他教室はコロナ感染対策のため中止

7. 会議開催の状況

●なでしこ管理者会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、サービスマネージャー、各部署リーダー、管理栄養士
事務、看護師、生活相談員、高齢者住宅ヘルパー責任者

議事内容：各部署より報告、施設内連絡事項伝達、処遇・設備等相談

●全体会議

開催時期：2ヶ月に1回開催

出席者：全職員

議事内容：各ユニット、各委員会、各部署より報告、施設内連絡事項伝達

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、看護師、栄養士、介護支援専門員

議事内容：ケースカンファレンス、業務見直し、ユニット行事計画

●委員会

開催時期：各委員会月1回

出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、目標に沿って話し合い

●栄養管理会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、管理栄養士、看護師、調理師、ユニットリーダー

議事内容：栄養ケア・マネジメント、食事提供についての諸注意

● ナース・リーダー会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、看護師、ユニットリーダー

議事内容：入居者の健康管理について情報の共有、看取り対象者の意向確認
個別機能訓練内容の検討

● リーダー会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、生活相談員、ユニットリーダー、厨房リーダー

主な議題：各ユニットからの報告、職員の指導、入居者の処遇、勤務について

● 運営推進会議

出席者：富士河口湖町介護保険係長、地域包括センター長、七軒町自治会、民生委員、福祉委員、ご家族、第三者委員、施設長、生活相談員

開催日	内 容
4月(書面開催)	年間計画・活動報告送付
6月(書面開催)	活動報告・施設でのコロナ対策送付
8月27日	顔合わせ、はまなす・なでしこ各施設での活動報告
10月8日	はまなす・なでしこ各施設での活動報告
12月(書面開催)	活動報告 新型コロナウイルス感染対策に関するご家族からのご意見を報告
2月(書面開催)	活動報告、運営推進会議についての説明書類配布 ※地域の運営推進委員変更となった為、趣旨について説明。

今年度は新型コロナウイルス感染対策のため、主に書面にて開催。

8月・10月はフジ河口湖クリニック待合をお借りし、出席者の体調を確認しながら短時間で開催。

8. 外部研修参加の状況

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、外部研修への参加はできず。

9. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	業務を見直し、職員が安全に健全に働ける環境を整える。	・入浴予定作成 ・入浴アセスメント実施 ・職員用ご意見箱の設置と改善案の検討 ① 休憩時間の取得状況の確認 ② シフト作成、当直についての確認 ③ 新人指導についての検討	・重度化によりリフト対象者の増加し入浴にかかる時間も増加しているため、多職種との業務分担が必要となっている。 ・介護職員だけでなく多職種がリフトを含め福祉用具の習得が課題。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
防災・設備	防災意識を職員全員が持てるように指導・教育を継続的に行っていき発生時にスムーズな対応ができるように準備を整える。	4月 消防設備点検・自主点検 5月 伝達訓練 6月 すだれ設置 7月 自主点検 8月 伝達訓練・草刈 9月 防災に関する勉強会 10月 消防設備点検・自主点検 11月 BCP 更新 12月 伝達訓練 1月 自主点検 2月 伝達訓練 3月 1年の振り返り	・BCPに関する理解とそれに沿った訓練実施が思うようにできなかったため、次年度はBCPに沿った訓練が実施できるよう委員会で計画していきたい。
感染対策	職場における職員と利用者の安全を感染から守る為に内外の感染情報を収集し、感染の危険性及び発生に対応する。	・感染情報発信・感染予防対策指導(手洗い、消毒、マスク、ガウンテクニック) ・勉強会開催(食中毒 皮膚感染 褥瘡の基礎知識) ・感染対応マニュアル見直し、修正 ・環境衛生指導	・全職員への周知が図れていない部分があった。 ・周知の方法を検討し知識と意識の向上を図ることが課題だと思われる。
事故対策	介護事故を防止し、適切な質の高い安心・安全なサービスを提供する体制を確立する。 入居者様の尊厳を守り、自立した生活が送れるように各専門職の知識、技術を高め質の高いケアを目指す。	ヒヤリ・はつと件数 4月 114件 5月 109件 6月 137件 7月 87件 8月 113件 9月 84件 10月 83件 11月 114件 12月 111件 1月 97件 2月 52件 3月 58件 総数 1159件 事故報告件数 29件 入院事故件数 0件 ・虐待防止への取り組み 虐待予防チェックノートの読合わせ ・権利擁護、身体拘束防止への取り組み ・スピーチロック等接遇についての検討 ・見守りロボット対象者評価、検討	・事故報告の提出遅れや未提出があり職員への周知を再三行った。 ・事故の研修を多職種で行うため調整に時間がかかり検証が遅れることが多々あった。 課題 ・ヒヤリハットの記入が限られた人になっている。骨折や誤嚥等命にかかわる事故はなかったが転倒や誤薬等大きな事故につながるヒヤリもあったので、全職員が危機意識をもってヒヤリハットシートを記入するように意識をもってもらえるようにする。 ・接遇に対する意識が低く支援者としての質の向上が課題。
嚥下・摂食	食事を口から美味しく安全に食べて頂く為に、口腔内の状態食事形態・咀嚼・嚥下機能までの動作を常に確認し皆で検討する。	・毎食後の口腔ケアの実施 ・口腔ケア用品消毒の実施 ・口腔衛生指導及び経過報告 ・歯科医、歯科衛生士への相談 ・口腔ケアに関する勉強会の実施	・口腔ケア用品の消毒日と歯ブラシの交換日を全体で決めたことで定着できた。 ・職員一人一人が口腔内の状態を気にかけた口腔ケアが実施できていないことが課題。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
看取り	なでしこで最期を迎えたいと言う希望にこたえ、本人・家族の思いを尊重したケアを行うため、看取り介護とは何か基本から確認していく。	- 適宜体調不良者の報告 - 援助方法についての確認 - しのびのカンファレンス実施 - 看取り期の介護についての勉強会の実施	- 必要時に実施できていないこともあり活動内容の見直しが必要。 - マニュアルを見直しIC から看取りまでがスムーズに行えるようにしていく。

特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん 事業報告

1. 利用者の状況

令和3年3月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)すずらん

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場市	1	8	39	36	16	100	3.6	58
小山町	0	5	10	11	4	30	3.5	19
裾野市	0	1	0	0	1	2	3.5	1
その他	0	0	5	6	6	17	4.1	13
合計	1	14	54	53	27	149	3.6	91

●短期入所生活介護(ショートステイ)すずらん

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	2	16	17	37	28	3	104	2.8

●通所介護(デイサービス)すずらん

介護度	事業対象	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	7	6	6	29	17	15	5	2	87	2.0

●ケアハウスすずらん(特定入所)

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
御殿場市	7	6	23	7	1	1	0	45	1.4
小山町	1	2	8	0	1	2	1	15	2.0
裾野市	1	1	1	1	0	0	0	4	1.5
その他	1	3	4	4	1	1	0	14	1.9
合計	10	12	36	12	3	4	1	78	1.6

●ケアハウスすずらん(一般入所)

入所者数	
御殿場市	14
小山町	2
その他	4
合計	20

2. 利用者・家族との連携

コロナ禍でご家族様との直接の面会が出来ない中、手紙や写真を同封し近況報告を行い、普段の様子がわかるよう努めた。またビデオ通話やガラス越し面会を始め、直接会話をしていたりお会いできる環境を整えた。

令和2年6月よりビデオ通話、7月よりガラス越し面会(御殿場市内在住者限定)開始。

面会の状況 (月)	特別養護老人ホームすずらん		ケアハウスすずらん	
	ビデオ通話	ガラス越し面会	ビデオ通話	ガラス越し面会
6	12	0	6	0
7	26	30	14	8
8	31	26	8	12
9	23	34	10	6
10	16	14	6	5
11	12	16	3	4
12	10	60	5	16
1	8	21	3	2
2	4	24	2	5
3	8	30	3	9
合計	150	255	60	67

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

今年度はコロナウイルス感染予防の為、地域交流センターの解放と温泉の利用を中止とした。

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口付近の棚に、重要事項説明書、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書のファイルを設置し、利用者・入居者様、ご家族様、来館者が常時閲覧できるようにしている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。その結果、年間を通じて15件の苦情を受け付けたが、全て解決に至った。また玄関入り口付近にご意見箱を設置し、利用者様およびそのご家族様から、施設の運営に関わるご意見をいただけるよう努めた。

6. 主な年間行事

今年度は、施設内及び施設敷地内で入居者様、ご利用者様に季節を感じて頂ける行事を行った。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	藤棚作り	10	運動会
5	新茶を味わう会・梅干し作り・芋植え	11	焼き芋
6	ユニット毎の納涼祭	12	すずらん神社製作
7	ユニット毎の納涼祭	1	獅子舞 かんぷう摩擦
8	園芸作業（大根など）	2	足湯マッサージ
9	秋の第収穫祭	3	桜並木づくり

7. クラブ活動の状況

今年度は、コロナウイルス感染予防の為、クラブ活動を中止とした。

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：統括部長、施設長、事務長、介護長代理、各リーダー

開催日	主 な 議 題
4月13日	・ユニット配置の確認 ・コロナウイルス対策の確認 ・就業規則の変更について ・窒息事故報告
5月11日	・コロナウイルス対策の確認 ・時間有給休暇の取り方について ・B勤務について
6月8日	・入居者の面会について ・カルテ記入について
7月13日	・コロナウイルス感染予防について ・入居者ガラス越し面会について ・虐待事例について
8月11日	・リーダー会議議事録について ・自己申告票の評価について
9月14日	・感染予防について ・連絡一斉メール登録について ・介護慰労金交付について
10月12日	・避難訓練実施内容について ・施設内行事の確認
11月9日	・虐待についての報告
12月14日	・年末年始の帰省について ・年末年始休暇日の取得について
1月12日	・コロナウイルス感染対策について ・新年度の予算案提出について
2月8日	・自己申告書の評価について ・運転免許証の確認 ・次年度リーダー登用について
3月8日	・次年度への引継について ・預り金の年度末締めについて ・ユニット発表表彰

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：統括部長、施設長、介護長代理、各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、施設ケアマネジャー、管理栄養士、歯科衛生士

主な議題：利用者の介護支援、生活の質の向上などを目的に、他職種の意見を参考にしながら、更なるケアの充実に向けて会議を開催した。

9. 外部研修参加の状況

外部研修の内容については、コロナウイルス感染予防のため下半期よりビデオ通話にて受講開始

月 日	内 容	職 種	人数
10 月 12 日	技能実習生指導責任者講習	施設長・事務員	2
3 月 10 日	介護報酬改定研修	施設長・事務員	2

10. 委員会事業報告

毎月1回又は2回、各委員会メンバーにより委員会を開催。今年度コロナウイルス感染対策により、各事業サービスの代表者により委員会を開催。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	職員 1 人 1 人の資質向上につながるよう毎月の勉強会、ユニット発表等を通じて積極的に働きかけていく。	・勉強会においては、内容をDVD・ウェブ動画にて各職員に閲覧してもらう形式を取り、後日レポート提出し内容把握の確認を実施 ・1 月にユニット発表 ウェブにて閲覧。	・蜜を避けるために、会議の簡素化や DVD・ウェブ動画を利用し職員への教育を実施。
行事計画	季節ごとの行事を計画し、入居者様、利用者様に楽しんで頂く。	・施設内で開催できるイベントを企画。 ・すずらん新聞の発行	・イベント開催単位をユニット毎としたため回数が多くなったが、入居者、利用者に喜んで頂けた。
業務改善	すずらん全職員が業務改善に取り組みサービスの向上、能率の良い業務の実現により、すずらんの活性化を促進する。	各ユニット及び部署内で業務の見直し改善を実施した。大きな成果は見られなかったが細かい気づきの点を拾い他部署への展開もできた。	・施設全体への展開が難しかった。隣のユニットなど近い所での情報共有はできたが全体へのアナウンス、展開が難しかった。
抑 制 ・ 事故対策	介護事故を防止し、安全でかつ適切に質の高い介護を提供する体制を確立する。また、安全な介護の提供により、利用者様との信頼関係を築き、紛争の防止に努める。KYT・スピーチロック教育。	・ヒヤリ・はっと、事故報告の集計とアセスメント ・勉強会年2回開催ウェブにて配信。アンケートにて聴衆回答。	・全職員への周知、共有が難しかった。 ・虐待等の不適切な介護について次年度は全職員で検討していきたい。
安全衛生	労働安全法に基づき、職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。	・安全衛生管理点検表による定期的点検(職場環境の向上) ・健康診断の実施 ・職員健康管理の取組み ・腰痛予防・メンタルヘルス	・入居者への健康診断が遅れ例年通りには行かなかった。 ・感染症にも関連し、職場環境の見直しも検討していきたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染対策	・施設内感染症予防の計画・立案 ・教育、研修必要な措置の実施	・コロナウイルス感染症の対策 ・ガウンテクニックの講習 ・感染対策時の備品チェック ・グループ本部との情報共有	反省・職員への感染対策の徹底が初期時にはできていなかった。 ・施設内の清潔、不潔の区分が曖昧 課題・施設内への感染予防の徹底 ・不織布マスクの購入 ・アルコール消毒液の確保
嚥下・褥瘡	質の高い摂食・嚥下リハビリ、ケアサービスの提供と褥瘡形成ゼロ	・褥瘡予防マット、エアマットの管理 ・飲み込みチェックリストの作成と共有	・パン食の提供について職員間で違いがあり、嚥下評価を明確にする。 ・褥瘡による栄養管理の共有
給食	①食事サービスの改善、内容の充実を図り、満足度の向上に繋げる。 ②経口からの栄養管理・口腔内環境の更なる改善・利用者様の身体状態(咀嚼機能・嚥下機能・堅強状態)にあわせた調理の工夫・口腔嚥下機能維持に関する活動を実施することで、利用者様がいつまでもおいしく楽しくお食事が出来るよう努める。	・感染症対策にて外出できない状況であったため季節感を出すレクを実施。 ・すずらん食堂だよりを発行し、利用者、入居者の状況や行事を掲載 ・各ユニットの冷蔵庫チェック(衛生状態管理)	・ユニット調理が少なかった。 ・誕生日献立時の盛り付けがユニット毎違い、一汁三菜を意識した盛り付けを考える。 ・ソースについて味の濃さに差があり、今後栄養課内で調整を行う。
防災	・災害等に依る人的災害の予防と自然災害時(地震等)の救助および被害の軽減を図る。 ・主に日常生活のいろいろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を確認する。	・リーダー会議時に開催 ・年2回防災訓練実施 ・消火訓練、避難誘導訓練実施 ・御殿場市地域防災計画に基づいた計画作成の見直し	一斉メールを活用した情報伝達の有効活用 ・停電時の電力確保 ・停電時の暖房機器の確保

すずらん 事故対策・抑制禁止委員会 活動報告別表

●令和2年度 ヒヤリ・はっと集計報告

場所 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
特 養	40	49	48	26	12	40	46	44	57	63	44	34	503
ケアハウス	12	34	12	24	8	10	18	24	21	13	19	22	217
ショート	31	9	6	10	0	12	9	11	12	9	11	4	124
デイ	2	2	2	1	0	3	5	5	2	1	2	3	28
ユニット外	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	0	1	7
合 計	85	94	68	61	20	67	80	85	92	86	76	64	879

内容 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
転 倒	39	46	26	32	14	25	37	37	44	29	36	30	395
転 落	12	1	8	6	1	3	4	8	8	7	6	13	77
利用者間トラブル	0	9	3	0	0	3	3	1	1	2	0	2	24
離 設	11	9	6	10	2	2	7	2	5	7	6	5	72
異 食	0	1	6	1	0	2	1	1	1	1	1	0	15
暴言・暴力	0	0	1	0	0	0	1	5	1	5	4	1	18
不 潔 行 為	0	3	3	5	0	1	2	3	9	4	2	3	35
誤 嚥	1	3	3	0	0	1	3	0	0	0	0	1	12
誤 薬	0	2	2	0	0	2	1	3	4	2	4	3	23
外 傷	2	5	1	3	0	7	5	11	3	8	6	3	54
熱 傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	20	15	10	4	3	21	16	14	16	21	11	3	154
時間帯 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
7 時～13 時	22	25	28	18	9	20	32	31	31	20	27	18	281
13 時～19 時	23	35	28	16	5	25	29	29	30	26	24	22	292
19 時～ 0 時	19	12	4	10	2	10	6	9	14	18	15	12	131
0 時～ 7 時	19	19	9	15	4	10	11	11	16	22	9	11	156
不 明	2	3	0	2	0	2	2	5	1	0	1	1	19

●令和 2 年度 事故報告件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
報告件数	2	6	1	3	4	4	3	0	4	3	3	3	36

すずらん鍼灸治療院 事業報告

施術人数/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
すずらん特養	0	32	32	25	22	20	24	0	0	0	0	0	155
すずらん ケアハウス	9	8	9	8	9	8	6	5	5	5	15	5	92
ゆずり葉の森	7	4	6	5	7	6	8	6	7	7	7	6	66
菜の花の丘	42	42	44	37	40	21	35	36	36	36	36	36	441
白雪特養	0	7	7	8	7	7	9	0	0	0	0	0	45
ケアハウス やまぼうし	14	14	15	14	14	14	13	13	13	13	13	14	164
職員	2	0	1	0	2	6	2	1	2	1	3	3	23
合 計	74	107	113	97	101	82	97	61	63	64	64	64	986

すずらん託児所 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 15 名

<令和 2 年度>

利用児童年齢（年度の初日の前日における年齢）

月	定員	乳児		1 歳児		2 歳児		合計
		従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	
4	15	0	1	3	0	3	3	10
5	15	0	1	3	0	3	3	10
6	15	0	1	3	0	3	3	10
7	15	0	1	3	0	3	3	10
8	15	0	1	3	0	3	3	10
9	15	0	1	2	0	3	3	9
10	15	1	1	2	0	3	3	10
11	15	1	1	2	0	3	3	10
12	15	2	1	1	0	3	3	10
1	15	2	1	1	0	3	3	10
2	15	2	1	1	0	2	3	9
3	15	2	1	1	0	2	3	9
合計	180	10	12	25	0	34	36	117

事業名	延べ 利用人数
一時預かり保育	259 人
延長保育	0 人
休日保育	24 人

※年間通して一時預かりを随時受け付けた。（余裕活用型）

2. 主な年間行事

月	内 容
4	16 日 内科健診
7	1 日 プール開き 7 日七夕
9	随時 施設敬老会（お手紙配布） 21 日 祖父母へお手紙郵送 29 日 遠足
10	6 日 歯科健診 20 日 芋ほり 22 日 ハロウィン 23 日 ミニ運動会
11	9 日 内科健診
12	21 日 託児所クリスマス会
2	4 日 節分の会 29 日 もちつき体験
3	3 日 雛祭り 9 日 お別れ会

※一部、行事中止

3. 会議開催の状況

●保育会議

開催時期：毎月第3木曜日

出席者：全職員

開催日	主 な 議 題	
4月16日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・新型コロナウイルス対応について
5月21日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・研修会、勉強会、食育について
6月20日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・コロナ対策の今後について
7月16日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・プールについて
8月20日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・今後のコロナ対策と対応について
9月17日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・偏食児への対応について
10月15日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・園児加入の保険について
11月19日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・新年度入所状況について
12月17日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・年末年始の保育について
1月21日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・コロナ禍の共通対応について
2月18日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・環境整備について
3月18日	・前当月の報告、反省、今後の予定	・1年間の反省について

4. 研修参加・勉強会参加の状況

内容については保育会議にて報告を行った。

月 日	主 催	内 容	人数
8月3～5日	プラサヴェルデ（沼津市）	研修会「食育・アレルギー」	1
10月1日	長生保育園（山梨県）	視察「長生保育園の現状、情報交換」	1
10月20～22日	プラサヴェルデ（沼津市）	研修会「乳幼児保育」	1
11月12日	市民交流センター（御殿場市）	講演会「乳幼児の感染予防」	1

※上記の他、当施設内の勉強会「AEDと緊急処置の対応」「コロナ対策と現状」「事故対応」等には随時参加。

※託児所の自主研修「アナフィラキシーショックへの対応：動画」「保育事故のリスク管理と対応：動画」は全員視聴

※コロナ禍の為、参加自粛あり

ケアハウスやまぼうし 事業報告

1. 利用者の状況

令和3年3月末現在

介護度	自立	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均介護度	入居待機状況(人)
沼津市	3	2	11	9	6	0	1	0	32	1	8
裾野市	1	1	3	2	0	0	0	0	7	0.5	0
三島市	0	0	1	1	1	0	0	0	3	0.6	2
御殿場市	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0
長泉町	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.6	1
その他	1	3	6	1	2	1	0	0	14	0.9	2
合計	5	9	21	15	7	1	1	0	59	0.9	13

2. 利用者・家族との連携

面会の状況（対面しない荷物引き渡し含む）

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	119	4	8	158	5	12	146	5
5	152	5	9	121	4	1	117	4
6	110	4	10	104	4	2	114	4
7	112	4	11	125	4	3	136	5
						平均	126.1	4.3

3. 主な年間行事

利用者の皆様に楽しんでいただけるように様々な行事を計画し実施した。

月	行事内容
4	開設記念特別メニュー お花見（中止）
5	新緑祭（中止）
8	流しそうめん（中止）
9	敬老会特別メニュー
10	わんわんサーカス公演・豚汁会
11	ドライブレク（車窓のみ）
12	クリスマス特別メニュー
1	初詣（中止）餅つき
2	豆まき ひな人形飾り
3	ひな祭り特別メニュー

4. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員（ボランティア）と提携し定期的な活動を行い、利用者の皆様の気分転換を図った。

内 容	指導員数	年間回数	内 容	指導員数	年間回数
カ ラ オ ケ		80	ドライブレク		6
体 操 教 室		61	作 品 作 り		6
映 画 鑑 賞		12	傾 聴		中止
買い物レク		12	茶 道 教 室		中止
移動図書館	2	10	訪 問 販 売		中止

5. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

※新型コロナウイルス感染対策のため6月まで使用制限

月	内 容
7	カラオケ 体操教室 映画鑑賞
8	カラオケ 体操教室 映画鑑賞
9	カラオケ 体操教室 映画鑑賞
10	カラオケ 体操教室 映画鑑賞
11	カラオケ 体操教室 映画鑑賞
12	カラオケ 体操教室 映画鑑賞
1	カラオケ 体操教室 映画鑑賞 餅つき
2	カラオケ 体操教室 映画鑑賞 まめまき
3	カラオケ 体操教室 映画鑑賞

6. 情報公開の取り組み

事務所受付カウンターに重要事項説明書の掲示を行い、利用者様、ご家族様が自由に閲覧出来るようにしている。

7. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 令和2年度 苦情受付件数 3件

8. 会議開催の状況

●全体会議

開催時期：毎月最終月曜日

出席者：全職員

議事内容：施設長より報告、各ユニット・各委員会・各部署より報告、その他施設内連絡事項伝達

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、介護支援専門員

議事内容：業務見直し、ユニット行事計画

●リーダー会議・部署会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、生活相談員、各部署リーダー、看護職員

主な議題：各ユニットからの報告、職員の指導、勤務について、利用者様への処遇について等
検討議案の決定

●サービス担当者会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：介護支援専門員、生活相談員、看護職員、ユニット職員、栄養士、施設長

主な議題：利用者様の情報共有、ケアプランに関する内容

●各種委員会

開催時期：各委員会月1回

出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、予定についての話し合い

●待機者管理・判定会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、生活相談員、介護支援専門員、看護職員、栄養士

議事内容：待機者状況報告及び入居申込者の入居可否決定

9. 外部研修参加の状況

※新型コロナウイルス感染対策の為、大幅に制限

月 日	内 容	職 種	人数
10月27.28日	衛生推進者養成講習	施設長	1
11月20日	成年後見人についてWEB研修	相談員・ケアマネ	2
2月25日	新型コロナウイルスの発生時の対応について	施設長・相談員 ケアマネ・看護師 介護員	6

10. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染・衛生 対 策	・職員の業務上必要な知識・技術の向上を図る。 ・施設内感染予防の計画・立案	・月 1 回委員会開催 ・週 1 回冷蔵庫チェック ・月 1 回ユニット内清掃チェック(委員当番制) ・花王手洗い、手指衛生についての勉強会実施 ・インフルエンザ勉強会 ・ノロウイルス勉強会 ・新型コロナウイルス感染症勉強会 ・施設内環境整備 ・入居者、職員の健康診断と予防接種管理 ・加湿空気清浄機清掃チェック表作成と清掃 ・嘔吐物処理セットの補充、交換 ・リビング・廊下のエアコン、換気扇清掃 ・ユニット内清掃方法の統一	・新型コロナウイルス感染拡大により勉強会や外部研修の中止、または実施回数の減少をしてしまった ・利用者検診複数回延期となつてしまった。 ・入居者様、ご家族様、職員の感染症対策についての協力により発生、蔓延に至っていない。今後も引き続き注意していく。
リスクマネ ジメント	リスクマネ ジメント	・将来起こりそうな危険を想定して、もしその危険が起きたときに損害を最小限に止めるために対応する(危機管理) ・事故発生後の集計をもとに施設全体での分析、対策、評価を行い、再発防止に努める。	・月 1 回委員会開催 ・手書きで記入していたアクシデント・ヒヤリハットを PC 入力実施 - 集計して可視化し、報告内容一覧を各ユニットに配布する。 ・緊急マニュアルの見直し ・事故発生時に事故対策会議の開催、県や保険者への報告 ・危険予知トレーニングの実施
業 務 改 善 ・ 教 育	・職員の業務上必要な知識・技術向上のため、勉強会を行う。 ・職員のスキルアップを図る。 ・利用者様の日常の様子を新聞にして伝える。	- 月 1 回委員会、勉強会開催 6 月 雨季感染予防の勉強会 7 月 身体拘束の勉強会 8 月 新型コロナウイルスについて 9 月 接遇マナーについて 10 月 冬季感染予防について 11 月 メンタルケア・ストレスチェックについて 12 月 身体拘束・虐待について 1 月 交通安全について 2 月 新型コロナウイルス発生時の対応	・新型コロナウイルスのため外部研修への参加ができなかった ・勉強会がビデオ学習のみになってしまっており、実践型の勉強ができていない

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
防 災	「施設職員及び利用者様に対して防災意識を高め、防災訓練を実施し、生命の安全と施設の保全に努める」を目的として防災活動等に取り組む。	月 1 回委員会開催 4 月前年度活動内容の確認 5 月 緊急連絡網訓練を実施 6 月 消防署への通報訓練実施 7 月 非常階段の点検、清掃 8 月 避難誘導路の設定 9 月 外用の防災倉庫の設定場所の検討報告 10 月 感染予防のため避難訓練等の実施方法を消防署に助言もらう 11 月 机上での避難経路の確認、訓練実施 1 月 防災倉庫の整理 2 月 防災用飲料水更新	・感染予防のため、参加型の訓練の実施が難しかったため、計画や机上訓練のみになってしまった。 ・保存食
行事・給食	・様々な行事やレクリエーションを皆様の協力を得て行い、利用者様に季節感や喜楽を感じて頂く。 ・より良く美味しい食事を提供出来るように利用者様からの意見を取り入れていく。	月 1 回委員会開催 (8 月までは月 2 回実施) 毎月のレク行事予定表検討、作成 4 月 開設記念特別メニュー、お花見(中止) 5 月 新緑祭(中止) 8 月 流しそうめん(中止) 9 月 敬老会 10 月 わんわんサーカス公演・豚汁会 11 月 ドライブレク 12 月 クリスマスメニュー 1 月 初詣(中止)、餅つき 2 月 豆まき 3 月 ひな祭り	・感染予防のため、大部分の行事やレクが中止を余儀なくされてしまった。 ・縛りが多い中でもアイデアを搾り、新規行事を開拓できた。

社会福祉法人博友会指定地域密着型通所介護事業所（山中湖デイ）・

社会福祉法人博友会指定居宅介護支援事業所（山中湖居宅） 事業報告

1. 利用者の状況

令和 3 年 3 月末現在

●地域密着型通所介護・介護予防通所介護・総合事業通所型サービス（山中湖デイ）

介護度	事業対象	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均
平野地区	0	1	1	8	1	6	1	0	18	1.8
山中地区	0	1	0	5	0	1	0	0	7	1.2
長池地区	0	1	0	2	0	0	0	0	3	0.8
旭日丘地区	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.4
合 計	0	3	2	15	1	7	1	0	29	2.5

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、デイルームが狭いので、三密を避けるために
 デイサービス利用者人数を下記のとおり制限させていただいた。

令和2年4月20日～5月14日	緊急事態宣言期間中	最大 8名
令和2年5月15日～5月26日		最大 8名
令和2年5月27日～5月30日		最大 10名
令和2年6月 1日～		通常通り（定員 15名）

●居宅介護支援（山中湖居宅）

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	20	4	7	3	0	34	2

2. 利用者・家族との連携

日頃から送迎時等で家族との会話を積極的に行い、家族の意見を聞いたり、利用者の日々の様子を連絡帳等で情報を共有して、家族との距離を縮め、より親しみある施設の構築に努めた。

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、高齢者や基礎疾患を持っている方は重症化し易いことから、感染予防の為に、様々な取り組みを自粛した。従来行ってきた地域住民との交流、地元中学生職場体験やボランティア等の受け入れ、近隣保育所や小中学校、地元住民からの慰問等、多くの取り組みについて、中止せざるを得なかった。又、身障者家族の為にデイサービス営業時間外に山中湖平野温泉石割の湯すこやか風呂（身障者用家族風呂）としての解放も自粛した。

月	行事内容
全期間	新型コロナウイルス感染予防の為に、ボランティア等受け入れ自粛
6	23日 手作りマスク利用者へプレゼント（リフォームすずらの会）
12	1日 手作りマスク利用者へプレゼント（リフォームすずらの会）

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口に運営規程、重要事項説明書等の掲示を行っている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。

6. 主な年間行事

月	行 事 内 容
4	上旬/室内お花見 13日/大雪着雪注意報の為2時間半短縮営業
5	4,5日/端午の節句 菖蒲湯
6	5日/第1回避難訓練及び消防器具点検（火災訓練） 25,26日/お抹茶会
7	7日/七夕まつり（七夕メニュー） 8日/大雨・雷・洪水注意報の為1時間遅れ営業
8	18日/平野保育所とのふれあい交流会中止（利用者のみで夏まつり開催）
9	21,22日/敬老の日「健康長寿願い」根付プレゼント
10	22日/第2回避難訓練（土砂災害訓練） 27日/山中湖村高齢者等見守りネットワーク行方不明者伝達訓練（FAXで実施） 29日/第2回運営推進会議 4月～9月事業活動報告
11	上旬/山中湖村文化祭中止 利用者作品出展中止 2～7日/秋の紅葉ドライブ（山中湖村内） 3日/ほし柿（ころ柿）作り 13日/秋の味覚を楽しむ会
12	21～26日/冬至週間 ゆず風呂 21日/冬至 かぼちゃ料理 24,25日/クリスマス会
1	4～9日/正月遊び（かるた等） 12,28日/大雪着雪注意報の為1時間短縮営業 14日/小正月どんと焼き（だんご作り中止） 25日/大雪着雪注意報の為1時間遅れ営業
2	2日/節分（豆まき中止）
3	3日/ひな祭り（お楽しみメニュー）

7. 会議開催の状況

●全体会議

開催時期：毎月1回

出席者：全職員

議事内容：事業計画、事業報告、事務連絡、グループ内連絡事項確認

●ケース検討会

開催時期：毎月1回

出席者：デイ管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員、
居宅管理者（介護支援専門員）

議事内容：ケースカンファレンス、業務見直し、行事計画

●運営推進会議

出席者：山中湖村福祉健康課介護保険担当、地域包括支援センター保健師、社会福祉士、民生委員、ご家族様、第三者委員、なでしこ施設長、デイ管理者、生活相談員、居宅管理者

開催日	内 容	人数
4 月（書面報告）	H31・R1 年度 事業活動報告について R2 年度 事業計画について	—
10 月 29 日	R2 年 4 月～R2 年 9 月 事業活動報告について	7 名

8. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
10 月 21 日	第 2 回富士北麓地域介護支援専門員研修会	居宅管理者	1 名
11 月 20 日	富士吉田市地域ケア会議	居宅管理者	1 名
3 月 23 日	山中湖村地域ケア会議	居宅管理者 デイ看護師	2 名
3 月 25 日	令和 2 年度給食施設従事者研修会 （動画配信によるオンデマンド形式）	デイ調理員	1 名

※新型コロナウイルス感染予防の為、大幅に自粛した。

9. 内部研修・勉強会参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
6 月 11 日	介護保険事業所における新型コロナウイルス感染症への対応等について（山中湖デイ） 参考資料：厚生労働省 情報提供：富士・東部保健福祉事務所 長寿介護課 山中湖村福祉健康課 介護保険担当	生活相談員 介護職員 看護職員 機能訓練指導員 調理員 居宅管理者	7 名
11 月 26 日	介護保険サービス従事者向けの感染対策について （山中湖デイ） 参考資料：厚生労働省 情報提供：山中湖村福祉健康課 介護保険担当	デイ管理者 生活相談員 介護職員 看護職員 機能訓練指導員 居宅管理者	7 名
1 月 20 日	新型コロナウイルス感染拡大（富士北麓地域感染拡大）について（山中湖デイ） 参考資料：山梨県ホームページ	デイ管理者 生活相談員 介護職員 看護職員 機能訓練指導員 調理員 居宅管理者	7 名

月 日	内 容	職 種	人数
3 月 12 日	個別機能訓練加算の算定について (山中湖デイ) 講師：QLO システム 宮森 大介	デイ管理者 機能訓練指導員 (zoom 参加)	2 名 (1 名)

10. 委員会事業報告

山中湖デイでは 5 年目となり委員会活動も活発になった。毎月 1 回全体会議・各委員会を開催し、職員全員で運営の充実を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染予防に職員一丸となり取り組んだ。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
行 事 計 画	博友会の理念のもと“長生きしてよかった”のお手伝いとして利用者様がより良い生活を送れるよう季節にあった行事・風習を生活に取り入れて、ストレス解消とリフレッシュを図っていただく。	4 月 室内お花見 5 月 端午の節句(菖蒲湯) 6 月 お抹茶会 7 月 七夕まつり 8 月 夏まつり(利用者のみ) 9 月 敬老の日 10 月 秋の味覚を楽しむ会 11 月 秋の紅葉ドライブ 12 月 クリスマス会 冬至週間(ゆず湯) 冬至かぼちゃ料理 1 月 正月(かるた等) 2 月 節分(豆まき中止) 3 月 ひな祭り お楽しみメニュー	・4 月室内お花見 毎年恒例のお花見ドライブは自粛 ・8 月夏まつりは、利用者だけで行ったが楽しい一日を過ごした。 ・9 月敬老の日は、手作りの根付をプレゼントした。 ・“長生きしてよかった”のお手伝いとして利用者様がより良い生活を送れるよう今後もいろいろ企画していく。
事 故 対 策	利用者様一人ひとりの生活歴」を重視し、穏やかに安心して生活出来る様、質の高い介護を確立する。	・ヒヤリはつとの集計、事故対策会議での対策検討、事故防止の呼びかけ。 ・デイサービスの荒天時(台風や大雪注意報等)の営業、送迎時の事故防止の為及びリスク管理の為にその都度、村と協議した。 ・ヒヤリはつと件数 4 月 0 件、5 月 1 件、6 月 0 件、 7 月 2 件、8 月 6 件、9 月 6 件、 10 月 1 件、11 月 6 件、12 月 3 件、 1 月 3 件、2 月 1 件、3 月 1 件 総数 30 件 ・苦情件数 4 件 ・相談件数 0 件 ・事故件数 9 件	・ヒヤリはつとについては十分理解されているが、事故防止の対策とスピーチロックについても積極的に今後も引き続き取り組んでいく。 ・今年度は大雨・雷・洪水注意報や大雪着雪注意報があり、時間短縮営業が 5 回あった。 ・甲府地方気象台が発令する警報・注意報に基づき、デイサービスの荒天時の営業及び送迎時の事故防止について、その都度、村担当課長とデイ管理者および施設長が協議し決定した。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
衛生管理	利用者様の安全安心を確保するための感染予防計画の作成と、職員への教育・指導を行い感染の予防・防止に努める。	・新型コロナウイルス感染予防等の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断を実施 ・うがい手洗いの実施徹底 ・アルコール等による清掃方法、吐物処理、食器類の対処について実践学習 ・新型コロナウイルス感染及び季節性感染症の勉強会実施 毎日：調理施設・調理器具及び使用水・調理等における点検、レジオネラ症防止対策自主点検 随時：ろ過装置・薬注装置点検 年 2 回：水質検査（レジオネラ属菌） 年 2 回：害虫駆除・グリストラップ清掃 年 1 回：風呂循環配管薬品洗浄	・新型コロナウイルス感染症が拡大することがなく、感染予防ができた。感染症に対する知識を職員へ周知徹底することができた。 ・うがい、手洗い、マスク装着の意識を高め、声掛けを絶えず行っていく。 ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金でデイサービスにアクリル板・ビニールカーテン・空気清浄機等及び居宅事務所にアクリル板・ビニールカーテン・換気機能付き壁付けエアコン等を購入し感染対策を行った。 ・除菌洗浄剤やアルコール消毒等による清掃方法について職員みんなで協議し衛生管理に努めた。 ・調理室等の衛生管理に特に日々注意し点検を行った。 ・レジオネラ症防止対策に取り組み水質保持を心がける。 ・職員の健康維持にも取り組んだ。
防 災	地震・火災等にスムーズな対応ができるように職員に継続的に教育を行っていく。	毎日 自主点検 随時 火気使用設備管理点検 4 月 緊急時持出ファイル作成 6/5 第1回避難訓練（火災） 防災備蓄品整備 6/5 消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検（石割の湯合同） 10/22 第2回避難訓練（土石流災害） 12/21 消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検（石割の湯合同）	・防火管理者を中心に委員会として日々自主点検を行いました。 ・避難訓練は、年2回、利用者様も参加して実際に近い形で訓練ができた。 ・隣接する石割の湯（山中湖観光振興公社）と合同で消防用設備等自主点検ができた。
施設等維持管理	施設・整備管理の専属営繕職員が不在ではあるが、日常点検・定期点検を行い施設の良好な状態を維持できるように努める。	毎日：車輛始動自主点検、浴室リフター自主点検 随時：車輛整備・清掃点検、施設環境美化、施設修繕点検、備品管理点検 11/25 自動洗濯機・衣類乾燥機の設置 2/22 浴室リフター設置 2/25 ガス高速オープン設置	・山中湖村借用福祉車輛 4 台の送迎時の運転は、職員一同注意して運転するように周知した。 ・浴室リフターの老朽化により、山中湖村の備品として新規設置して頂いた。 ・自動洗濯機・衣類乾燥機及びガス高速オープン等の老朽化により、博友会備品として新規設置した。

菜の花こども園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児	1・2歳児	3歳児		4歳児以上		合計		
	保育認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	合計
4	1	23	7	13	5	32	12	69	81
5	1	24	6	14	5	32	11	71	82
6	1	24	6	14	5	32	11	71	82
7	4	25	4	16	3	34	7	79	86
8	5	25	4	16	2	34	6	80	86
9	6	25	4	16	2	34	6	81	87
10	8	25	4	16	3	33	7	82	89
11	9	25	4	16	2	34	6	84	90
12	9	25	4	16	2	34	6	84	90
1	9	25	4	16	3	33	7	83	90
2	9	25	4	16	3	33	7	83	90
3	9	25	3	17	3	33	6	84	90
合計	71	296	54	186	38	397	92	951	1,043

保 育 事 業 名	延べ利用人数
一時預かり保育	509
延 長 保 育	360
休 日 保 育	240
病 後 児 保 育	52

2. 主な年間行事

月	内 容
4	3日 入園式 10日 じゃがいも植え 15日 お楽しみ会 24日 IFC 任命式
5	12日 消防署見学（中止） 14日 さつま芋の苗さし 20日 親子遠足（サファリパーク）（中止）
6	12日 花火教室（年長児のみ） ※お抹茶教室・保育参観（中止）
7	1日 プール開き 7日 七夕の集い 20日 菜の花まつり（中止） 28日 一年生交流会（中止）
8	30日 足柄地区体育大会（中止）
9	1日 総合防災訓練 12日 菜の花の丘敬老会参加（DVD にて参加）
10	8日 秋の遠足 16日 観劇（ぴよぴよ） 17日 運動会（雨天により中止） 19日 さつま芋掘り 23日 親子遠足（中止） 30日 ハロウィン
11	7日 足柄地区文化祭（中止）

月	内 容
12	5 日 生活発表会 11 日 交通安全イベント 16 日 菜の花の丘クリスマス会（参加なし）14 日 クリスマスコンサート
1	7 日 おめでとうの集い 18 日 交通安全教室 21 日 足柄小学校交流会 29 日 縦割り保育
2	2 日 節分集会 4 日 0,1 歳児保育参観 5 日 IFC 修了式 8 日 不審者訓練 10 日 2,3 歳児保育参観 16 日 4,5 歳児保育参観 17 日 木工教室 26 日 卒園遠足（サファリパーク）
3	3 日 雛祭りの集い 17 日 お別れ会 20 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●リーダー会議

毎月第1水曜日 出席者：主任保育士、副主任保育士、専門リーダー保育士

主な議題：保育の質の向上にむけて、ヒヤリハット、苦情・要望対応、リスクマネジメント

●以上児会議

毎月第2水曜日 出席者：主任保育士、以上児各クラス代表

主な議題：行事について、共通理解しておきたいことの確認

●未満児会議

毎月第2木曜日 出席者：主任保育士、未満児各クラス代表

主な議題：行事について、共通理解しておきたいことの確認

●職員全体会議

毎月第3火曜日 出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
毎 回	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師、事務より連絡
4 月 1 日	・入園式について・保育、教育理念の確認 ・マニュアルの確認 ・保育の形態について ・給食費について ・本部からの連絡
4 月 20 日	・コロナ対応、感染予防の確認
5 月 19 日	・とらのこ保育園との歳児別研修について ・コロナ対応の確認
6 月 16 日	・マスク着用について ・コロナ禍での保育について ・害獣駆除について
7 月 21 日	・運動会について ・菜の花まつりについて
8 月 18 日	・菜の花の丘敬老会について ・運動会について ・遠足について
9 月 15 日	・運動会について
10 月 20 日	・看護師より手洗い指導について ・運動会ごっこについて
11 月 17 日	・発表会について ・コロナ禍での行事について
12 月 2 日	・生活発表会について ・玄関ドア修理について
12 月 15 日	・森のこども園構想について ・保育参観について
1 月 19 日	・令和3年度入園説明会について ・コロナ対応について
2 月 16 日	・参観日について ・不審者訓練の反省 ・令和3年度行事について

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
6 月 1 日	社会福祉法人運営管理研修会 「感染症から利用者、職員を守るために」	保育士	1
7 月 27 日	リーダーセミナー 「これから求められる子どもの育ちと保育者の役割」	保育士	1
8 月 18～20 日	キャリアアップ研修「障害児保育」	保育士	1
8 月 27 日	中堅保育者研修会「子どもの尊重と保育」	保育士	2
9 月 5 日	食物アレルギー研修会「食物アレルギーの食事と管理」	栄養士	1
9 月 30 日	リーダーセミナー「保育・教育の質を守り、職員の心と仕事を守る～コロナ禍のもとで～」	保育士	1
10 月 7 日	衛生・栄養管理研修「給食施設の食中毒予防策」	栄養士	1
10 月 20～22 日	キャリアアップ研修「乳児保育」	保育士	2
11 月 6 日	主任保育士・主幹保育教諭研修会「こども・家庭支援における主任保育士・主幹保育教諭の役割」	保育士	1
11 月 17 日	施設長研修会「いま、求められる保育の専門性」	園長	1
11 月 25 日	保育士・保育教諭研修会「気になる子どもたちの理解と対応」	保育士	1
12 月 7・21 日	東部支部保育者研修会「受容と信頼関係の保育」	保育士	1
12 月 16～18 日	キャリアアップ研修「マネジメント」	保育士	1
2 月 4 日	保育士・保育教諭研修会「保育内容の一環としての食育」	保育士	1
2 月 18 日	小山町特別支援研修会「発達障害をもつ子どもの心とからだ」	保育士	1

5. 委員会事業報告

	活動目的	活動内容	反省及び課題
保 健 衛 生	児童および職員の健康保持・増進のために、施設内外の環境衛生管理を行う。	毎月：月末に各救急箱の回収・点検・補充等の管理・おたより配布、緊急処理セットの確認・補充 随時：掲示板にて情報提供、コロナウイルス対策 4月 アレルギー児童対応リスト配布 6月 内科健診、AED 研修、手洗い指導(3歳児) 7月 熱中症対策、歯磨き指導 9月 エピペン研修、歯科健診 10月 手洗い指導(4,5歳児) 11月 内科健診 1月 うがい指導(2歳児) 2月インフル注意喚起の掲示 3月 1年の反省、来年度の計画	・コロナウイルス対策として、園内消毒、換気ををこまめに行った。また、感染予防の一環として、手洗い指導を以上児対象に行った。 ・AED 研修はアッパくんを使い、実際の力加減等を体験することができた。 ・研修や指導は看護師を中心に行っていたが、保育士ももっと関わっていけるようにしたい。 ・来年度は嘔吐処理研修を実施していく。 ・手洗い、うがい指導は感染予防として継続して行っていく。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
環 境	人・物・場などの環境が相互に関連し合い、子どもの活動が豊かになるよう計画的に構成する。保育環境の整備・向上とともに、施設内外の設備・遊具等の管理をする。	保育室・園外・共同スペースの環境点検 ヒヤリハットシートの管理、集計 教材の点検・補充・整頓 花壇や道路側の球根播種作業 芝生の管理 教材倉庫、外倉庫の整備と管理 毎月：園内一斉清掃、避難訓練計画 3月：1年の反省、来年度の計画	・ヒヤリハットの事案を検証し、各クラスや園庭の危険個所を確認しマップ作りをした。・ヒヤリハット報告書の書式を変更したことで、内容がわかりやすくなり、対策結果も把握できるようになった。 ・園内一斉清掃では、日頃行き届かない所にも皆で協力して行えた。 ・花壇は種まきの時だけでなく、花が咲いた様子も記録していく。
教 育	常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指す。研修会を通して職員間の連携と情報の共有を図る。	4月 年間の活動予定 5月 年齢に応じた紙芝居 6月 年齢に合った玩具の選別 保育目標の掲示 1月 年齢に応じた紙芝居 3月 1年間の反省、来年度の計画	・リトミック研修は、コロナのため集まっていけなかったが、クラスごとの活動の中で職員も確認しながら行っていた。 ・保育目標を掲示し読み上げを行うことで、職員の意識へと繋がっている。 ・来年度は季節の歌や踊りを決め、皆で共通して楽しめるものを考えていく。
食 育	(児童)食物を育てる楽しさを味わう。楽しく食事をする。食材に興味・関心をもつ。身近な食材にふれる。	年間 食育ひろば掲示、季節の食材掲示 4月 じゃがいも植え 5月 さつまいも苗さし、さといも植え 6月 野菜の苗植え 7月 じゃがいも収穫 8月 夏野菜収穫、とうもろこし皮むき 10月 さといも・さつまいも収穫 1月 おせち料理・さいとやき団子飾り 2月 おやつクッキング 3月 お別れ会リクエスト献立 食育アンケート、1年の反省、来年度計画	・畑(野菜作り)はクラスの先生を中心に計画、実行していった。コロナ感染予防のため収穫した野菜でクッキングを行うことはできなかったが、給食に入れてもらって食べることでできた。 ・未満児に対しては野菜スタンプ等で野菜に触れたり興味を持てるような取り組みを行えたのが良かった。 ・来年度は、親子で食への興味が広がるよう、牛乳パックで野菜を育て持ち帰る活動をしていきたい。
広 報 ・ 写 真	壁面装飾により、園児や保護者が季節を感じると共に、会話を生みコミュニケーションをとり、楽しい環境ですごしてもらう。園での生活風景を写真で記録し保護者へ伝え成長を感じてもらう。園のHPを活用し、行事や子育て支援活動等について発信し地域に知ってもらう。	毎月 画像データ管理、印刷関係備品の管理、HPの更新 年間 壁面装飾、掲示物管理、コードモン導入による書式の検討、管理方法、コードモンによる写真データ管理 4月 データ管理方法の確認 11月 発表会壁面製作 2月 卒園式シアター製作、お散歩マップ製作、掲示 3月 1年間の反省、来年度の計画	・子ども達が季節を感じられるような壁面作りを行った。壁面は持続的に使用できるようにラミネート加工したり、見て楽しめる工夫もしたりしても配慮した。 ・保護者には個人情報同意書を提出してもらったが、常にネットでの情報管理に努めるよう、職員には確認した。 ・来年度は、行事の様子がわかる写真を記録として撮っていく。 ・LINE WORKS を使用して、HP にアップする写真を管理していく。